

彙 報

研究活動等 (2015 年 1 月～ 2015 年 12 月)

総合政策学科

澁谷 彰久

1. 論文・報告書・判例研究

- (1) 単著・編者 (2015 年 3 月) 「市民後見人養成プログラムによる人材育成－第 1 期やまなし市民後見人養成講座－
山梨県立大学地域戦略総合センター平成 26 年度報告書 (総 156 頁)
- (2) 単著 (2015 年 9 月) 「後見制度支援のための専用口座の必要性と法的課題」
信託フォーラム Vol.4 日本加除出版 (72～77 頁)
- (3) 単著 (2015 年 12 月) 「地域における後見人育成と大学の役割－山梨での市民後見人養成講座の取組みと課題－」
実践成年後見 No.60 民事法研究会 (59～65 頁)

2. 研究助成・その他

- (1) 共同 (2015 年 3 月 7 日) 民事信託研究会主催シンポジウム
テーマ: 「信託制度の今後はどうあるべきか」
企画・司会を担当
- (2) 単独 (2015 年 4 月) 日本学術振興会科学研究費 基盤研究 C (一般)
継続採択 (研究代表) テーマ: 「地域における成年後見人の役割と法的課題の研究」
- (3) 単独 (2015 年 6 月 16 日) 関東財務局主催第 5 回経済財政に関する山梨コンファランス講演会
テーマ: 「山梨県の人口推計とエリア別傾向－人口予測から見える課題と提言」講師
- (4) 単独 (2015 年 10 月 27 日) 山梨県成年後見制度活用促進研修会講師

- (5) 共同 (2015 年 11 月) 公開講座「やまなし市民後見人養成講座 (第 2 期)」
企画・コーディネーター・講演・司会 (山梨県立大学平成 27 年度 C O C 事業講座)
- (6) 単独 (2015 年 11 月 14 日) 県民コミュニティーカレッジ (地域ベース講座) 「お墓の中まで持っていきますか?－成年後見と信託から学ぶ老後のための財産管理術－」講師
- (7) 単独 (2015 年 11 月 19 日) 山梨放送 YBS ワイドニュース出演
木曜アンテナ特集: 「市民後見人－現状と課題－」解説者

熊谷 隆一

1. 論文 (単著)

- (1) 「これからの自治体労働者と自治研－自治研活動へのいざない」(『自治研かながわ月報 No.105』((社)神奈川県地方自治研究センター発行、2015 年 10 月 5 日) pp.1～11

2. 講演 (単独)

- (1) (社) 甲府青年会議所 2015 年度 3 月例会・講師 「グローバルマインド～地域に必要なグローバルリーダー～」(甲府青年会議所、2015 年 3 月 13 日)
- (2) 第 51 回地方自治研究神奈川集会・講師 「これからの自治体労働者と自治研 ～自治研活動へのいざない」(自治労神奈川県本部、2015 年 7 月 4 日)
- (3) 横浜地方自治研究集会・講師 「身近な自治研の取り組みについて ～住民参加の社会を目指して」(自治労横浜市従業員労働組合、2015 年 9 月 8 日)

3. 報告書 (編著)

- (1) 「甲府市におけるビジネス客および観光客

動向調査」(文部科学省「地(知)の拠点事業(大学COC事業)」による地域貢献活動、四菱まちづくり総合研究室発行、2015年2月11日)

- (2) 「よつびし総研プレゼンツ 甲府!おもてなしBOOK No.2」および「2014年度よつびし総研 活動報告書」合併号(文部科学省「地(知)の拠点事業(大学COC事業)」による地域貢献活動、四菱まちづくり総合研究室発行、2015年3月27日)

4. その他

- (1) 識者談話(単独)

「政策討論の機会なく残念■自治に立脚した県政を 選挙戦 県立大総合政策学科・熊谷隆一教授に聞く」(『朝日新聞』2015年1月24日付朝刊)

- (2) 評論(単著)

「新時代の県政 住民と協働を」(『山梨日日新聞』「時標」欄、2015年3月29日付)

- (3) 評論(単著)

「リニア中央新幹線開業と山梨のまちづくり -甲府ライトレール株式会社構想(私案)-」(『甲府法人会たより第127号』、甲府法人会発行、2015年8月20日)

- (4) 社会的活動(アドバイザー)

「四菱まちづくり総合研究室」教員顧問団幹事(2007年4月14日～、継続)

- (5) 社会的活動(学会理事)

富士学会理事(2009年4月1日～2015年3月31日)

富士学会常務理事(2015年4月1日～、継続)

- (6) 社会的活動(研究員)

(社)神奈川県地方自治研究センター特別研究員(2005年4月～、継続)

国際研究』(山梨県立大学国際政策学部紀要第10号・研究ノート)

2. 社会的活動(委員、コーディネーター等)

- (1) 委員(委員長)平成26年度事務事業外部評価委員会(韮崎市企画財政課)(2015年10月)

- (2) 幹事委員 やまなしコミュニティビジネス推進協議会(2015年1月～12月)

- (3) 企画運営委員 キャンパスネットやまなし(山梨県生涯学習文化課)(2015年4月～)

- (4) アドバイザー やまなし若者中心市街地活性化協働事業実行委員会(2015年6月～10月)

3. その他

甲府ヘリテージ発掘事業HP及び情報誌(COC事業)

石山 宏

1. 著 書

- (1) 『会計学説の系譜と理論構築』(共著)同文館出版, 38頁-51頁, 2015年2月。

- (2) 『検定簿記講義/2級商業簿記<平成27年度版>』(共著)中央経済社, 90頁-103頁, 149頁-177頁, 183頁-208頁, 265頁-266頁, 273頁-281頁, 2015年2月。

- (3) 『人生を豊かにする簿記-続・簿記のススメ-』(共著)創成社, 81頁-98頁, 2015年2月。

- (4) 『テキスト上級簿記〔第5版〕』(共著)中央経済社, 162頁-173頁, 283頁-285頁, 2015年4月。

- (5) 『スタートアップ会計学』(共著)同文館出版, 3頁-18頁, 55頁-171, 2015年9月。

2. 学会発表

「簿記教育における反転授業の実践」日本会計教育学会第7回大会(名桜大学)自由論題, 2015年11月。

3. 社会活動等

- (1) 出前講義

①「人生を豊かにする『会計学』」山梨県立都留高等学校, 2015年6月。

安達義通

1. 論 文

単著(2015年3月)‘An Examination of The Applicability of Nonaka’s Theory in The Empirical Context of UK Urban Regeneration: A Case Study of The Creative Town Initiative in Huddersfield (1) - Methodology -’(『山梨

- ②「人生を豊かにする『会計学』」山梨県立甲府西高等学校, 2015年11月。
- (2) 検定試験実施
公益社団法人全国経理教育協会 簿記能力検定試験(山梨県立大学飯田キャンパス会場) 2015年7月。

大西 康雄

1. 学会発表

"한국영화 '괴물'은 일본에서 왜 흥행실패를 가져왔는가? - Monster 영화로 보는 한일 양국의 사회에 대한 신뢰감, 사회질서 의식의 차이 -", 대한일본문화학회 2015년도 국제학술대회(「韓国映画『ゲエムル』は日本でなぜ興業失敗したのか」、大韓日本文化学会2015年度国際學術大会), 2015.9.19, 慶北大学(大韓民国大邱市)

2. 社会貢献

「手のひらの中のトモダチ 5 識者に聞く」山梨日日新聞文化部 2015.5.26 記事 インタビュー取材協力

黒羽 雅子

1. 論文(単著)

- (1) 「州法銀行再建整理の経験は連邦預金保険制度に引き継がれたのか: 1930年代のネブラスカ州を事例に」『経済志林』82(4), 205-238, 2015-03
- (2) 「米国における銀行破綻と銀行整理: 1920-30年代のネブラスカ州を事例に」山梨県立大学『国際政策学部紀要』第10号, 11-31, 2015-03.
- (3) 「ネブラスカ州預金保証基金とその顛末(再論)」『地方金融史研究』(45), 27-49, 2014-05

2. 学会発表等(単独)

- (1) 「州法銀行再建整理の経験は連邦預金保険制度に引き継がれたのか: 1930年代のネブラスカ州を事例に」2015年10月24日、日本金融学会 2015年秋季大会(東北大学)
- (2) 「若尾地所部『決算報告』分析—地主小作関係理解への若干の示唆」平成27年5月23日、企業家史研究会(法政大学)。

- (3) 「米国州法銀行の再建手法の発展—1930年代ネブラスカ州アーノルド村の銀行再建を事例として—」平成27年3月27日、地方金融史研究会(全国地方銀行会館)。

3. その他(社会活動等)

<委員>

- (1) 山梨県固定資産評価審議会委員(平成27年9月1日~)

<公開講座講師>

- (2) 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター公開講座『企業家・教育者活動でたどる日本の学校経営—一人づくりの先駆者に学ぶ—』「第3部 自主独立の精神の涵養: 根津嘉一郎(武蔵学園)」(平成27年12月12日、於: 法政大学市ヶ谷キャンパス)

二宮 浩輔

1. 論文等

- 『アジアの発展途上国における都市交通開発と環境社会配慮』、「山梨国際研究」第10号、2015年3月、pp.45-58
- 『環境社会配慮について』、「環境アセスメント学会誌」第13巻第2号、2015年8月、pp.31-32
- 『開発援助の環境社会配慮—JICAの取組と課題—』、「環境アセスメント学会誌」第13巻第2号、2015年8月、pp.32-36

2. 学会報告等

- 『開発援助における戦略的環境アセスメントの制度に関する基礎的考察』日本経済政策学会第72回全国大会、2015年5月30-31日、於 国土館大学

3. その他

- 国際協力機構(JICA)環境社会配慮助言委員会委員
- 環境アセスメント学会環境社会配慮研究部 会長 ほか

波木井 昇

1. 報告

- (1) 「地域資源としてのクラフト作家とそのピ

ジネス展開の可能性」(大学COC事業活動成果報告) 甲府財務事務所「第5回経済財政に関する山梨コンファレンス」(2015年6月)

- (2) 「インドネシアの経済産業動向について」公益財団法人山梨総合研究所「アジアフォーラム21」研究会(2015年11月)

2. 講演

- (1) 「製造業を中心とする山梨の産業の現状」甲府一高スーパーグローバルハイスクールプログラム(2015年6月)

3. 社会的活動

- (1) 甲府財務事務所「第5回経済財政に関する山梨コンファレンス」全体討論コーディネーター(2015年6月)
- (2) 公益財団法人山梨総合研究所特別研究員(「アジアフォーラム21」研究会コーディネーター)
- (3) 公益財団法人山梨総合研究所理事
- (4) 地方独立行政法人山梨県立病院機構評価委員
- (5) 甲斐市総合計画審議会会長
- (6) 山梨県民信用組合経営諮問会議委員(座長)
- (7) 山梨県地域産業活性化協議会運営委員会委員

箕浦一哉

1. 論文

- (1) 共著(2015年6月)“The Influence of Socio-cultural Context on the Perception of Student Noise in the City of Groningen: A Qualitative Analysis”, *Proceedings of Euronoise2015*, 2455-2460.

2. その他

- (1) ワークショップコーディネーター(2015年11月)「来たくなる景観：景観改善による経済効果」, 主催：八ヶ岳南麓風景街道の会, 三分一湧水館(北杜市).

森田玉雪

1. 論文

- 森田玉雪, 山本公香(2015)「日本の中学校教

員の満足度－OECD国際教員指導環境調査(TALIS)結果から－」, 『山梨国際研究：山梨県立大学国際政策学部紀要』, 第10巻, pp. 115-129.

- Tamaki Morita and Shunsuke Managi (2015) “Consumers’ Willingness to Pay for Electricity after the Great East Japan Earthquake” *Economic Analysis and Policy*, Vol. 48, pp.82-105, doi:10.1016/j.eap.2015.09.004

2. 外部資金研究

- 科学研究費補助金(基盤研究B), 研究代表者. 課題番号26285057「エコプロダクツの貿易自由化が生み出す効率性と多様な軋轢の経済分析」2014～2017年度.

3. 学会活動

- 討論者, 日本応用経済学会(報告論文：中井美和, 菊池康紀, 大久保達也「家庭需要家のエネルギー選好に関するコンジョイント分析」) 獨協大学, 2015年11月.

4. その他

- 政策研究大学院大学 政策研究科教育政策プログラム非常勤講師(教育政策分析演習I, 特定課題研究)／客員研究員
- 独立行政法人経済産業研究所「原発事故後の経済状況及び産業構造変化がエネルギー需給に与える影響」研究会メンバー
- 山梨地方最低賃金審議会委員
- 杉並区学校運営協議会委員

佐藤正幸

1. 研究発表

論文

- (1) (単著・査読有) “History and Historiography: East Asia,” *International Encyclopedia of Social and Behavioral Sciences* (Elsevier; Leyden, 2015) 2nd edition, Vol. 11, pp.48-53. (2015.5).
- (2) (単著・査読有) “Time, Chronology and Periodization in History,” *International Encyclopedia of Social and Behavioral Sciences* (Elsevier; Leyden, 2015) 2nd edition, Vol. 24, pp.409-414. (2015.5).

書評

- (1) (単著・査読有)“A World History for Citizens,” *The Asian Review of World Histories*, 3-1, pp.155-158. (2015.3)

学会発表

- (1) (単独発表)「『市民のための世界史』の英文書評を書くことで見えてきた日本型歴史教育の特徴」3月14日大阪大学歴史教育研究会。
- (2) (単独発表・査読有)“The World is One, but Histories are Many,” AAWH International Conference (Nanyang Technological University, Singapore) 30 May.
- (3) (単独発表・査読有)“The Role and Purpose of Historiography in East Asia,” International Conference on the History of Twentieth Century Historiography (University of Athens, Greece) 20 June.
- (4) (単独発表・査読有)“Rekishi; From Chinese official historiographies to what happened in the past,” International Taipei Conference on the Basic History Terms (National Taiwan University, Taiwan) 12 November.

2. 学会役員等

- (1) *Ex Officio* (as Past President) of the Board of the International Commission for the History and Theory of Historiography (2010.8-2015.8).
- (2) Honorary Member of the International Commission for the History and Theory of Historiography (2015.8-)
- (3) Editorial Member of the Berghahn Series *Making Sense of History*.
- (4) Advisor of the Chinese Academy of Social Sciences Project *Contemporary International Historiography*.
- (5) 国際学術雑誌 *Historein* 査読委員。

3. 社会的活動等

- (1) 国際ロータリー財団機関誌『ロータリーの友』編集委員 (2015年7月 - 2016年6月)。
- (2) 甲府ロータリークラブ国際奉仕委員 (2015年7月 - 2016年6月)。
- (3) 野口賞選考委員会委員 (2015年4月 - 2016

年3月)。

- (4) 慶應義塾大学社会学研究科「英語論文作成・英語によるプレゼンテーションのためのワークショップ」での講演 (2月5日)。

- (5) 南アルプス市地域雇用創造協議会での講演「南アルプス市における農業6次化概論」(5月12日, 10月15日)。

4. 競争的研究資金

- (1) 平成27年度科学研究費：基盤研究B「認識方法としての歴史と規範としての歴史に関する国際的総合研究」(平成22 - 27年度、研究代表者：佐藤正幸)。
- (2) 平成27年度科学研究費：挑戦的萌芽研究「キリスト紀年の世界共通紀年化に関する思想史的研究」(平成27 - 29年度、研究代表者：佐藤正幸)。

ピーター・マウントフォード

1. 著書・論文等

- ① [共著]「Yamanashi Folktales for Drama (英語で楽しもう！山梨のむかしばなし)」山梨県立大学、2015年3月
- ② [単著]“Drama as an extra-curricular activity for teaching English as a foreign language”山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第10号、pp. 99-102、2015年3月
- ③ [単著]“Practical Support for English education in elementary schools”、山梨県立大学地域研究交流センター2014年度報告書『山梨県の小学校における「外国語活動」の効果的運営に関する実践的研究』、pp. 42-43、2015年3月

2. 社会活動その他

- ① イギリス言語文化講座講師 (2015年2月12日、於 山梨県立大学)
- ② 教員免許更新講習選択科目「外国語活動」講師 (2015年7月31日、於 山梨県立大学)
- ③ Seigakuin 研修

国際コミュニケーション学科

張 兵

1. 論 文

「中国における大都市問題と日本の経験—北京と東京の事例を中心に」山梨県立大学国際政策学部『山梨国際研究』第10号 2015年3月

2. 書評、報告書、講演、特別講義

- (1) 「丸川知雄著『チャイニーズ・ドリーム—大衆資本主義が世界を変える』」中国現代史研究会『現代中国研究』第34号 2015年3月
- (2) 「地域産業活性化プロジェクト—山梨県内企業の海外展開の可能性と課題に関する研究」山梨県立大学「地(知)の拠点整備事業」2014年度プロジェクト成果報告書 2015年3月
- (3) 「双方向型の高大連携による地域資源を活かした授業モデルの構築」(共著)山梨県立大学地域研究交流センター 2014年度研究報告書 2015年3月
- (4) 「グローバル化論」甲府第1高校特別講義 2015年6月6日
- (5) 「日本の新型城市建設の経験及其对中国的啓示」(中国語)湖北省イノベーションと経済発展モデルチェンジ日本視察研修団講演会 2015年6月20日一般社団法人日中協会
- (6) 「山梨のインバウンド観光を考える」身延高校特別講義 2015年8月26日

3. 社会貢献

- (1) NPO 法人宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会理事(第7期:2014~2015年度)
- (2) 山梨県富士山五合目インフォメーションセンター通訳案内士(2015年7月~9月)
- (3) 甲府市産業振興検討委員会委員(2015~2017年)

伊藤ゆかり

1. 論 文

- (1) 単著(2015年3月)「ヴォーゲル劇における歴史の暴力」、山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第10号、pp.1-10

2. 報 告

- (1) 単著(2015年3月)「演劇的要素の活用による小学校英語の可能性」、山梨県立大学地域研究交流センター 2014年度報告書『山梨県の小学校における「外国語活動」の効果的運営に関する実践的研究』、pp.44-46

3. その 他

- (1) 教員免許更新講習選択講座「外国語活動」講師(2015年7月31日、於 山梨県立大学)
- (2) 山梨県高等学校商業教育研究会 英語スピーチコンテスト審査(2015年10月20日、於 甲府市ホテルクラウンパレス)
- (3) 山梨県中学校英語暗唱大会甲府支部大会審査(2015年10月31日、於 山梨学院大学附属中学校)

大村 梓

1. 著 書

- (1) 単著(2015年3月)、新視覚シリーズ「フランスの子供とジャンケンポン」『横光利一研究』、13、80-81

2. 学会発表

- (1) 単独(2015年9月)、「A Genealogy of Poetry Translation: From Ueda Bin to Horiguchi Daigaku」, British Association for Japanese Studies Annual Conference, London, UK

3. 講演会等

- (1) 単独(2015年9月)、「Introduction to Comparative Cultural Studies」, 「秋季総合講座: よりよく学び生きるために」、山梨県立大学、日本
- (2) 司会(2015年12月)、講師:堀江里美、「文芸翻訳のはなし: 耕し、育てる悦びと苦しみ」、山梨県立大学地域研究交流センター・国際政策学部共催講演会、日本

高野美千代

1. 著 書

- (1) [共著] *A Moth Anthology: Observations and Transformations*. Laurence Sterne Trust, UK. 2015年2月
- (2) [共著] 「Yamanashi Folktales for Drama (英

語で楽しもう！山梨のむかしばなし」山梨県立大学、2015年3月

- (3) 〔共著〕『十七世紀英文学を歴史的に読む』十七世紀英文学会編、金星堂、2015年5月

2. 研究報告等

- (1) 〔単著〕研究ノート「教員免許更新講習（小学校外国語活動）の課題改善と今後の展望」山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第10号、69～76頁、2015年3月

- (2) 〔編著〕「山梨県の小学校における『外国語活動』の効果的運営に関する実践的研究」山梨県立大学地域研究交流センター地域研究プロジェクト報告書、2015年3月

3. 社会活動、講演会企画運営等

- (1) 教員免許更新講習選択科目「外国語活動」実施運営（2015年7月31日、於 山梨県立大学）

- (2) 地域研究プロジェクトによる小学校英語指導者育成セミナー 講師：聖学院大学 ブライアン・バード氏、藤原真知子氏（1月7日、8月5日、於 山梨県立大学）

- (3) 国際俳句の会（1月24日・25日 於 山梨県立図書館、11月7・8日 於 山梨県立大学）

- (4) 日本研究講演会 講師：米国イリノイ大学 ロナルド・トビ名誉教授 10月13日 於 山梨県立大学

- (5) 国際政策学部10周年記念講演会 講師：英国ローレンス・スターントラスト パトリック・ワイルドガスト氏 11月4日、8日 於 山梨県立大学

- (6) 山梨県高等学校商業教育研究会 英語スピーチコンテスト審査（2015年10月20日、於 甲府市ホテルクラウンパレス）

- (2) 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《道》《雜占之四》綴合校釋」、『《長沙馬王堆漢墓簡帛集成》修訂國際研討會論文集』、2015年6月、單著、168～196頁。

- (3) 「〈深入其阻〉攷」、『清華簡研究』第二輯（中西書局）、2015年8月、單著、285～287頁。

- (4) 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜占之一》《天一》及《諸神吉凶》下半截綴合校釋」、『出土文獻與先秦經史國際學術研討會論文集』、2015年10月、單著、130～142頁。

- (5) 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜占之一》《天一》及《諸神吉凶》下半截綴合校釋（修訂版）」、『第五屆中國道教科學技術史國際學術研討會論文集』、2015年12月、單著、184～194頁。

2. 學會報告・招待講演

- (1) 「馬王堆帛書《陰陽五行》甲篇整體結構的復原」、《長沙馬王堆漢墓簡帛集成》修訂國際研討會（於上海市復旦大學）、2015年6月28日、共同。

- (2) 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《道》《雜占之四》綴合校釋」、《長沙馬王堆漢墓簡帛集成》修訂國際研討會（於上海市復旦大學）、2015年6月28日、單獨。

- (3) 「馬王堆帛書《陰陽五行》甲篇全體構造の復原について」、術數學國際シンポジウム（於京都大學人文科學研究所）2015年8月1日、單獨。

- (4) 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜占之一》《天一》及《諸神吉凶》下半截綴合校釋」、出土文獻與先秦經史國際學術研討會（於香港大學中文學院）、2015年10月16日、單獨。

- (5) 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜占之一》《天一》及《諸神吉凶》下半截綴合校釋（修訂版）」、『第五屆中國道教科學技術史國際學術研討會（於四川大學）』、2015年12月5日、單獨。

- (6) 「中日占星術比較研究」、四川大學文化科技協同創新研發中心（大學院）、2015年12月5日、單獨。

名和敏光

1. 學術論文

- (1) 「馬王堆帛書《陰陽五行》甲篇整體結構的復原」、『《長沙馬王堆漢墓簡帛集成》修訂國際研討會論文集』、2015年6月、共著、197～208頁。

3. 獲得資金

(1) 研究代表者、日本學術振興會科學研究費補助金（基盤研究(C)、研究課題番號：25370047、研究協力者：武田時昌（京都大學教授）、總額：4810千円）、「中國方術理論の遡及的考察」、2013年4月～2016年3月。（繼續）
<https://kaken.nii.ac.jp/d/p/25370047.ja.html> 參照。

(2) 研究分擔者、日本學術振興會科學研究費補助金（基盤研究(B)、研究課題番號：26284010、研究代表者：谷中信一（日本女子大學教授）、總額：11624千円）、「MultiDisciplinaryApproachによる戰國秦漢期新出土資料研究」、2014年4月～2018年3月。（繼續）
<https://kaken.nii.ac.jp/d/p/26284010.ja.html> 參照。

(3) 研究分擔者、日本學術振興會科學研究費補助金（基盤研究(B)、研究課題番號：15H03157、總額：14890千円、水上雅晴（琉球大學教授）、「年號勘文資料の研究基盤の構築」、2015年4月～2019年3月。（新規）
<https://kaken.nii.ac.jp/d/p/15H03157.ja.html> 參照。

(4) 研究分擔者、國立歷史民俗博物館平成27年度共同研究（研究代表者：水上雅晴（琉球大學教授）、「廣橋家舊藏文書を中心とする年號勘文資料の整理と研究」、2015年4月～2018年3月。（新規）
https://www.rekihaku.ac.jp/education_research/research/list/joint/2015/hirohashi.html 參照。

4. 國際學會參加等

(1) 《長沙馬王堆漢墓簡帛集成》修訂國際研討會、2015年6月27日～28日、於上海市復旦大學、科研費。

http://www.gwz.fudan.edu.cn/srcShow_NewsStyle.asp?Src_ID=2544_ID=2547_ID=2548 參照。

(2) 復旦大學出土文獻與古文字研究センター訪問・調査・學術交流、2015年9月10日～16日、於上海市復旦大學、科研費。

http://www.gwz.fudan.edu.cn/SrcShow.asp?Src_ID=2595 參照。

(3) 出土文獻與先秦經史國際學術研討會、2015年10月16日～17日、於香港大學、科研費。
<http://web.chinese.hku.hk/poster/20151016schedule.pdf> 參照。

(4) 第五屆中國道教科學技術史國際學術研討會、2015年12月5日～7日、於四川大學、科研費。

5. 學會役員・その他

(1) 中國出土資料學會會長、2014年4月～現在。

(2) 日本道教學會評議員、2014年1月～現在。

(3) 東京大學東洋文化研究所研究班「中國古代文獻の成立に關する多角的研究」研究員、研究代表者：小寺敦准教授、2009年4月～現在。
<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/project/group.html> 參照。

(4) 京都大學人文科學研究所共同研究班B「東アジアの宗教文化と自然學」研究員、研究代表者：武田時昌教授、2015年4月～2017年3月。

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~takeda/> 參照。

(5) 京都大學人文科學研究所共同研究班A「東アジア傳統醫療文化の多角的研究」研究員、班長：大形徹（大阪府立大學教授、日本道教學會會長）、2013年4月～2016年3月。

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~takeda/> 參照。

(6) 東京大學文學部・大學院人文社會系研究科非常勤講師（中國思想文化學特殊講義）、2015年4月～現在。

(7) 四川大學文化科技協同創新研發中心（大學院）にて特別講義、2015年12月5日。

二戸麻砂彦

1. 著作

(1) 單著「節用文字の音注研究」（汲古書院、2015年10月）

*平成27年度科学研究費助成事業（研究成果公開促進費）の交付による刊行

萩原孝恵

1. 論文

- (1) 単著 (2015) 「グローバル人材として働くタイ人社員の異文化葛藤—来日3か月目のインタビューの分析—」『山梨県立大学 国際政策学部 紀要』第10号, pp.77-84.

2. 研究発表

- (1) 単独「会話におけるタイ人の適応行動と発話調整行動」山梨県立大学学術交流会、山梨県立大学 (2015年1月8日).
- (2) 共同「発話にみられる非語彙要素の再検討—タイ人の舌打ちに注目して—」『第10回 OPI 国際シンポジウム 基調講演・パネルディスカッション・研究発表予稿論集』pp.34-37、函館国際ホテル (2015年8月2日).
- (3) 共同「OPIにおける話題転換の方法—上級話者と中級話者に対するテストの関わり方に着目して—」『第10回 OPI 国際シンポジウム予稿集基調講演・パネルディスカッション・研究発表予稿論集』pp.76-79、函館国際ホテル (2015年8月2日).

3. 研究活動

- (1) 客員研究員「タイ人日本語学習者の学びを支援する—書く能力・話す能力向上に向けたICT活用と日本語教育のコラボレーション—」青山学院大学総合研究所プロジェクト (2015年度).
- (2) 共同研究「よりよいコミュニケーションのための相槌や受け答え」日本語 OPI 研究会 研究班 (2015年度).
- (3) 研究代表「〈学びの支援〉に焦点をあてた日本語支援活動—山梨県内の活動の新たな発展に向けて—」地域研究交流センター平成27年度地域研究プロジェクト.
- (4) プロジェクト報告「外国につながるのある就学前児童のためのプレスクール構築に向けて」地域研究交流センター平成26年度地域研究プロジェクト報告会、山梨県立大学 (2015年3月24日).

4. 社会活動、その他

- (1) 主催「外国人保護者のための進路進学シン

ポジウムと相談会」地域研究交流センター地域研究プロジェクト (2015年11月29日).

- (2) 主催「DLA (Dialogic Language Assessment) 勉強会&ワークショップ」地域研究交流センター地域研究プロジェクト (2015年10月30日~2015年12月18日).
- (3) 協力「ことばを言い換えて伝えるために知っておきたい三つのこと—教科書のリライトを例に—」宇都宮大学 鎌田美千子氏、日本語教育ワークショップ in 山梨、山梨県生涯学習推進センター (2015年10月24日).
- (4) 山梨県大規模小売店舗立地審議会委員 (2015年4月1日~)
- (5) 甲府市多文化共生推進計画策定委員会委員 (2015年7月2日~)

平野和彦

1. 国際学会口頭発表

- (1) 「村上文学を読む—視点—作品の諸相から—」(台湾淡江大学村上春樹研究センター主催「2015年第4回村上春樹国際学術シンポジウム」(於北九州国際会議場・小倉・西日本産業貿易コンベンション協会、2015年7月26日)

2. 論文

- (2) 「村上文学を読む—視点—作品の諸相から—」(台湾淡江大学村上春樹研究センター主催『2015年第4回村上春樹国際学術シンポジウム予稿集』(2016年7月25日-7月26日) p361 - p368

3. その他

- (1) 国際学会司会兼コメンテーター
台湾淡江大学村上春樹研究センター主催「2015年第4回村上春樹国際学術シンポジウム」第18セッション (於北九州国際会議場・小倉・西日本産業貿易コンベンション協会、2015年7月26日)

前澤哲爾

1. 社会貢献などの活動

- (1) 戦後70周年記念沖縄ドキュメンタリー映

画「うりずんの雨」(ジャン・ユンカーマン監督作品)の製作。6月20日から40日間、東京・岩波ホールで上映、以降全国公開開始。

(2) 大学広報誌「Souffle」編集部

第5号の取材・編集を行う。1月17日碑林公園取材、1月22日キースヘリング美術館取材、年表制作などを行い、3月17日発行。

第6号の企画・取材を行う。編集会議を7月13日、27日、10月13日、11月16日開催。9月17日及び11月3日富士吉田市・富士河口湖町取材、12月4日白鷗大学にて体操金メダリスト加藤澤男氏インタビューなど。

(3) ビジネスアイデアコンテスト

「キャリアデザインI」授業内でアイデア募集し、国コミュ2年稲田拳也君の「ムシアプリ」が12月3日関東大会で最優秀賞及び特別賞を受賞し、全国大会出場権を獲得。

2. 理事、委員などの活動

(1) 山梨県立大学「キャリアサポートセンター」センター長(14年4月～)

(2) NPO「政策学校 一新塾」理事・講師(02年10月～)

(3) 「現代美術センター CCA 北九州」評議員(05年4月～)

(4) NPO「先端芸術クリエイティブ・センター」理事長(10年5月～)

(5) 台東区「東京ダウタウン・アートサポート懇談会」副座長(07年4月～)

(6) 「したまちコメディ映画祭 in 台東」実行委員会委員(08年1月～)

(7) 山梨県立大学同窓会豊桜会会報委員会顧問(12年6月～)

3. 講演・パネラーなどの活動

2月6日富士吉田・北陵高校「映画から世界を見る」模擬授業

2月7日サテライト教室「農家民宿申請勉強会」主催

2月8日大学コンソーシアムやまなし「高大連携ワークショップ」コーディネーター

2月13日ベルクラシック「COCフォーラム」で「農家民泊活動」講演

2月19日富士川町民会館「農家民宿申請勉強会」主催

2月20日大学コンソーシアムやまなし「模擬授業セミナー」講演

3月17日丹波山村中央公民館「農家民泊で地域活性化」講演

5月24日日東京・韓国YMCA会館「一新塾卒業式・活動報告」コメンテーター

10月1日東京・一新塾「地域プロデューサー養成講座」講演

10月16日静岡県三島北高校「国際人になるために」模擬授業

11月8日東京・韓国YMCA会館「一新塾卒業式・活動報告」コメンテーター

吉田 均

1. 著作・受賞(計2件)

(1) 事業報告書(1件)

1) 山梨県立大学地域戦略総合センター、2015、『やまなし地域の再生と活性化の拠点づくりに向けて 平成26年度実績報告書(平成26年度文部科学省 地(知)の拠点整備事業年度報告書)』、2015年4月

(2) 受賞(計1件)

1) 山梨県立大学国際政策学部吉田ゼミ、2015年1月、「平成26年度おもてなしのやまなし知事表彰」、山梨県。

2. 発表・講演(計8件)

(1) 会議(計3件、下記は例示)

1) 吉田均(2015年2月13日)、「中心市街地における地域観光資源の発掘と情報発信事業」『やまなし地域協働フォーラム「地方創生」時代に求められる地域と大学との連携』、山梨県立大学

2) 吉田均(2015年12月16日)、「山梨県立大学「藤のみなづき」を指導して」『第1回富士川水系ミズベリング研究会、一異業種コラボが広がっています』、富士川水系ミズベリング研究会、国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務。

(2) 講演会など(計5件、下記は例示)

- 1) 吉田均 (2015年5月14日)、「外国人観光客の動向」『甲府青年会議所青年部例会』、甲府商工会議所
 - 2) 吉田均 (2015年3月24日)、「中心市街地活性化プロジェクト～地域観光資源の発掘と情報発信事業～」『山梨県立大学「地(知)の拠点整備事業」プロジェクト成果報告会 2014』、山梨県立大学地域戦略総合センター
3. 社会貢献 (計6件)
- (1) 公設委員会など (計5件、下記は例示)
 - 1) 「第2次甲府市観光振興基本計画研究会」委員 (会長)、甲府市、平成26年度。
 - 2) 「山梨大学COC外部事業評価委員会」委員 (委員長)、国立大学法人山梨大学、平成27年度。
 - 3) 「やまなし観光産業活性化計画策定検討委員会」委員、山梨県観光部、平成27年度。
 - (2) そのほか (計1件)
 - 1) 「スーパーグローバルハイスクール指定校運営指導委員」、山梨県教育委員会、平成27年度。

都を中心に」(韓国, 東アジア日本学会・東北アジア文化学会, 2015年秋季連合国際学術大会)

任 君三

1. 学術論文 (単著)

Im, K. (2015). Korean Exchange Rate and FTAs under the Roh Moo-hyun administration. *International Relations of the Asia-Pacific*, 15, 367-396.
2. 著 書
 - (1) 『国際関係学:地球社会を理解するために』、有信堂、「第Ⅱ部 国際関係理論:国際政治史と現代地球社会を見るレンズ 第2章 リアリズム(2)」 pp.34-40、2015年3月。
 - (2) 『国際関係学:地球社会を理解するために』、有信堂、「第Ⅱ部 国際関係理論:国際政治史と現代地球社会を見るレンズ 第8章 政策決定理論」 pp.77-85、2015年3月。
3. 学会発表

単独発表 (2015年11月)「東アジア国際関係における日本地方自治体の影響:日本の東京